

# 令和4年度近畿運輸局バリアフリー化推進功労者表彰

奨励賞

## 阪神電気鉄道株式会社

(大阪市福島区海老江1丁目1番24号)

### 受賞者の取り組み

阪神の駅間は平均1.0kmと短く、短距離移動を要する高齢者等の利用者が多い特徴を踏まえ、普通車両に立ち座りがしやすいシートを導入。その名も「ちよい乗りシート」。座面の高さや形状を自発的に開発。また、湾曲した握り棒および座席中間仕切りを設置し、手を使って体を支えながら容易に立ち座りできるよう更なる工夫が施されている。

その他 神戸三宮駅においても車両長、異なるドア位置である近鉄車両が乗り入れるホームにもホーム柵を設置。

ハード面の他にソフト面にも力を入れており、鉄道の駅係員及び乗務員は、全員がサービス介助士の資格を取得。

視覚障害者歩行訓練も当局や団体と共催している。



ちよい乗りシート



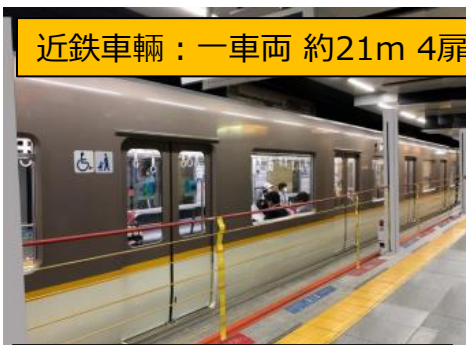
立ち座りしやすい座席です

座面が他より30mm高い。  
前端部が少し前に傾斜

湾曲した握り棒・座席中間仕切りを  
設置することでさらに立ち座りが容易に  
できるよう工夫



阪神車両：一車両 約19m 3扉



近鉄車両：一車両 約21m 4扉

神戸三宮駅では昇降ロープ式  
ホーム柵を設置



サービス介助士

鉄道駅係員・乗務員  
全員がサービス介助士  
資格を取得

### 講評

短距離移動の高齢者利用が多い区間特性を活かした、短時間の立ち座りという新たな設計コンセプト自体、目新しく独自に開発したシートとして評価。効果の経過を見ていきたい。

また、サービス介助士資格の取得に駅係員や乗務員全員といった組織全体で取り組み、尽力していることも評価。過去受賞後も継続してバリアフリーに取り組まれており、更なる進化を期待したい。